

地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を实践するための制度の理解と活用
4. 理念を实践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
 - (1) 一人ひとりの尊重
 - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
 - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
 - (4) 安心と安全を支える支援
 - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
 - (1) 居心地のよい環境づくり
 - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

V. サービスの成果

※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 グループホーム せんだんの里

ユニット名 すいせん

自己評価実施年月日 平成 20 年 9 月 18 日

記録者氏名 西村 つるえ

記録年月日 平成 20 年 9 月 25 日

自己評価票

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|---|---|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 住み慣れた地域との関わりを保ちながら暮らし続けることをサービスとして支えていく理念を作り上げている | |
| 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 法人の理念やホームの理念について職員間で認識し、日々理念の実現に向けた取り組みを実践している | |
| 3 | ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 入居者が地域の中で暮らし続けられるよう家族や地域の方には家族会、運営推進会議等の際に説明を行い取り組んでいる | |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 散歩や買い物に出かけた際には近隣住民との挨拶や日常会話をしている。また野菜などを届けて頂いたりすることもあり、近隣の人達とのふれあう機会も多い | |
| 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会が行う地域の清掃に参加したり、敬老会や地域の行事やお祭りなどに入居者と共に積極的に参加している。また、近隣の小学校、幼稚園、保育園等ともお互いの行事を通し交流が保たれている | ○ 自治会に入会し地域の一員としての活動にも参加して行く機会を増やすようにする |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|--|------------------------|---|
| 6 | <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> | | |
| 8 | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | | |
| 9 | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | | |
| 10 | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | ○ | <p>勉強会や研修会等への参加により職員の知識を深めるようにする 管理者は研修に参加し、より深い知識を得る</p> |
| 11 | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|---|--|--------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には事業所の方針や取り組みについて十分な説明を行い同意を得ている。また、契約解除に至る場合も本人、家族に理解や納得を得るよう対応している | |
| 13 | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 日々の介護の場面で職員が入居者からの意見や思いを言いやすい雰囲気を作っている。運営推進会議にも参加していただき市町村や家族、地域の方にも入居者の意見や要望を表せる機会を作っている | |
| 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 事業所での暮らしぶりや健康状態等を便りでお知らせしている。金銭管理については、毎月出納明細書を送付し確認していただいている。また、職員の移動等について面会時や電話等で報告をしている。家族会等で定期的に報告も行っている | |
| 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族会、運営推進会議を定期的に行い事業所への意見、要望等を参考にし運営に反映させるように努めている | |
| 16 | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 内部研修の開催や職員会で意見を聞くようにしている。日頃より職員が気軽に意見を言えるような雰囲気を作る努力をし事業所の運営に反映させている | |
| 17 | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 本人及び家族の状況に応じ、柔軟な対応ができるよう、職員会で話し合い調整している。必要時には職員の確保や協力を求め勤務体制の配置に努めている | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|---|------------------------|------------------------------------|
| 18 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | ○ | 入居者への十分な説明や対応に心がけ、混乱や不安が発生しないよう努める |
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | | |
| 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | | |
| 21 | <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> | | |
| 22 | <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|--|---------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 事前面接にて相談員やご家族から情報を得た上でご本人と面接を行い、不安や要望等も聴き、思いを受け入れることで安心してもらえるよう努めている。また、希望があればホーム内の見学もできるようにしている | |
| 24 | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 申込時に利用に至るまでの経過やご家族の不安や困っていることなどを聴くようにしている。施設の特長や役割を理解していただいた上で利用していただいている | |
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人や家族の状況確認を行い、早急な対応が必要な場合には他事業所とサービス利用の調整等を図っている | |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 本人、家族にホームを見学していただくことで、ホーム内の雰囲気馴染めるよう工夫している。入居当初は家族や関係者にも気軽に面会をしていただき、安心した生活できるよう努めている。他入居者や職員とも親しみを持てるよう支援している | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員が本人から昔の事や料理などを教えてもらう事も多い。本人と一緒にできる機会を多く持てるような工夫や声かけに配慮している | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|------------------------|---------------------------------|
| 28 | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p> | | |
| 29 | <p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p> | | |
| 30 | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | | |
| 31 | <p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p> | | |
| 32 | <p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|---|--|---------------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | コミュニケーションの充実により希望と意向の把握に努めている。意思疎通が困難な入居者には表情や行動から汲み取りとるようにし、必要に応じてご家族から情報を得るようにしている | |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人や家族、関係者等から聴き取り情報収集している。また、面会時等にも生活歴等を聴き、日頃から本人の話や思いを受け入れ馴染みの生活が継続できるよう支援している | |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 職員全員が常に入居者一人ひとりの心身状態、行動の把握に努めている | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している | 入居者がその人らしく生活していただくために本人、家族のニーズを把握した上で、職員間でアセスメントやカンファレンスを行い介護計画の作成を行っている | |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 定期的に介護計画の評価、見直しを実施している。また状態変化や本人、家族の要望があれば随時、新たな計画を作成している | ○ 状態変化時には直ぐに対応し計画の見直しを行い、短期間での計画作成を行う |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|------------------------|--------------------------------|
| 38 | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> <p>職員の気づきや状態変化は個々の記録に記載し、職員間で情報を共有することでケア内容や介護計画に反映できるようにしている</p> | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | |
| 39 | <p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> <p>本人、家族の状況に応じて柔軟に受診対応等行っている。また、往診や訪問看護との医療連携体制により適切な医療措置を受けながら、グループホームでの生活が継続できるよう支援している</p> | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 | <p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p> <p>入居者が安心して地域での生活が継続できるよう運営推進会議の開催等を通じて、地域の関係機関との連携に努めている</p> | | |
| 41 | <p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p> <p>地域の図書館から紙芝居や本などを借りたり、訪問理美容サービスの利用等の支援をしている</p> | | |
| 42 | <p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p> <p>運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加されており、情報交換や助言等をいただき協力関係を築いている</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----|--|------------------------|--------------------------------|
| 43 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | | |
| 44 | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p> | | |
| 45 | <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p> | | |
| 46 | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p> | | |
| 47 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | | |
| 48 | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|---|--|--------------------------------|
| 49 | <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> | <p>他の事業所に移られた場合、ケア関係者との事前の連絡や生活環境や支援状況及び注意点等の情報提供を手渡ししている。退居後にも訪問するなどして連携を心がけている</p> | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>随時、勉強会やミーティングの際に入居者様の誇りやプライバシーを傷つけないよう処遇にあたるよう再確認しながら業務にあたっている</p> | |
| 51 | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> | <p>日々の関わりの中で本人の思いや希望に沿えるようコミュニケーションを重視した対応を心がけ、自己決定ができるよう支援している</p> | |
| 52 | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>基本的な一日の流れはあるが、入居者個々のペースや体調に配慮しながら、できる限り一人ひとりの状態、思いに沿った支援をしている</p> | |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> | <p>服装等については基本的に本人の希望を尊重しており、催しや外出時には整容の促しをしている。髪型は理美容院から訪問してもらい、本人の希望に合わせたカットや毛ぞりをしてもらえるよう支援している。家族と外出時に利用される場合もある</p> | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|--|--|--------------------------------|
| 54 | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>入居者の嗜好に応じた調理や体調を考慮した（刻んだり刺身の苦手な方には焼く等）対応をしている。準備や片付けなどを手伝っていただいている方もおられる</p> | |
| 55 | <p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> | <p>本人の好む飲み物やお菓子等を状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。季節に応じた食材を中心に行事食や水分補給にも（ゼリー等飲みやすい）工夫をしている</p> | |
| 56 | <p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p> | <p>排泄パターンに応じたトイレ誘導を行い、また、出来る限りトイレで気持ちよく排泄できるよう支援している。体調や状態に応じ個別に清拭、シャワー浴、介助を行っている</p> | |
| 57 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> | <p>基本的には毎日、午後の時間帯に入浴できるようにしているが、一人ひとりの入浴時間をゆったりと持ち希望に応じて時間帯も調整している。シャワー浴はいつでも利用できるような体制をとっている。体調不良時には清拭や更衣介助も行っている</p> | |
| 58 | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p> | <p>できる限り、日中の活動を多くし、生活リズムを整えるよう支援している。一人ひとりの睡眠のパターンを把握し、状態に応じて休息をとれるよう配慮している</p> | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 | <p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> | <p>個々の生活リズムに合わせ、洗濯たたみや掃除、配膳、片付けなどを手伝っていただいております。本人の役割とされている方もいる。気分転換を図る一環として散歩や買い物に出かけられるよう支援している</p> | |


| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|---|---|------------------------|--|
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 小額の金銭を所持され、買い物時に自分で支払われる方もいが、所持されていない方にも買い物の際に支払いができるよう職員が手渡すなどの工夫をしている | ○ | 最近では買い物に参加される場合が少なくなりつつあるが少しでも行く機会を増やしたい |
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天候の良い日は日常的に散歩などに出かけたり、季節毎の外出やドライブにも出かけている。また、近隣の幼稚園、小学校との交流や本人の希望や気分により戸外へ出て気分転換など図れるよう支援している | | |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 買い物や家族との外出などは有るが一人での外出は無い。家族の協力を得て墓参りなど個別に出かけられる機会を作り支援している | | |
| 63 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 日記やメモを書かれたり、家族の了解を得て本人からの希望が有れば個別に電話等の支援をしている。また各居室に電話設置が可能である。 | | |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 家族や本人の馴染みの人たちがいつでも気軽に訪問できるような雰囲気作りに心がけ、ゆっくりと過ごして頂けるよう配慮している | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束に関する勉強会や研修に参加し、職員全員が認識、理解しており身体拘束をしないケアに取り組んでいる | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----|---|--|--------------------------------|
| 66 | <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> | 一人ひとりのその日の状態を把握し職員全員が共有し、見守りや一緒に付添うなど行動を共にし鍵をかけないケアに取り組んでいる。夜間帯以外は開錠している | |
| 67 | <p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p> | 常に入居者の見える所で作業など行いながら、さりげなく状態の把握に努めている。居場所の確認や、夜間帯については時間ごとの巡視を行い安全の確認に努めている | |
| 68 | <p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p> | 薬剤や危険物については保管や注意の必要な物とに分けて管理している。一人ひとりの状態に応じて危険を防げるように取り組んでいる。所持されている方に対しては見守りながら使用していただいている | |
| 69 | <p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p> | 一人ひとりの状態から予測される危険を検討し事故を未然に防げるよう取り組んでいる。事故が発生した場合は事故報告書を作成、管理者への報告及び状況によりご家族、医師、看護師に報告を行い支援に努め、今後の対応策も検討している | |
| 70 | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p> | 職員全員が普通救命講習を修了し、マニュアルを整備し周知徹底を図っている。また、日常的に急変に備えた指導も行っている | |
| 71 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | マニュアルを作成し消防署の協力を得て、職員が入居者を安全に避難誘導できるよう、また入居者も参加した年2回の防災訓練や呼集訓練や消火訓練を行っている。地域の防災訓練にも参加している | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|------------------------|---|
| 72 | <p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている</p> <p>自由な暮らしの大切さと起こりうるリスクや危険性、事業所の取り組みなどをご家族へ説明し、協力や理解を得られるようにしている</p> | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |
| 73 | <p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>毎日のバイタル測定を行い一人ひとりの日々の状態の変化や早期発見に努め、状態の変化が見られた場合には主治医や訪問看護等への状態報告を行い早急な対応に努めている</p> | | |
| 74 | <p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>服薬内容一覧表により確認できているが用量、副作用まで理解できている職員は少ない。変化がある場合は主治医、訪問看護、ご家族に連絡している。服薬変更の際は確実な申し送りをしている</p> | ○ | 全職員が服薬内容など（用量、副作用、病名等）を把握できるよう勉強会の機会を作る |
| 75 | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> <p>食材の工夫や本人の好む飲食物等の摂取の促しや体操、散歩など身体を動かすような働きかけをし自然排便を促している。必要時には個別に下剤等の調整に取り組んでいる</p> | | |
| 76 | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> <p>毎食後の口腔ケアの実施に努めている。口腔内の確認や介助を行っている。必要に応じ協力医療機関への連絡調整をしている。定期的に義歯の洗浄消毒、コップ消毒を行っている</p> | | |
| 77 | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> <p>食事や水分摂取量の記録を毎日チェック表に記載し職員全体が把握している。訪問看護への相談や報告し指示を得ている。水分の拒否や食事量の少ない方には栄養補助食品の使用やご家族へ好みの飲料やゼリー等を持参して頂いたりして十分な水分の摂取に努めている</p> | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|--|------------------------|--------------------------------|
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等） | 法人全体でのマニュアルや感染症対策の対応に努めている。インフルエンザ予防接種も家族の同意を得て職員とともに実施している | | |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | まな板や布巾等は毎晩ハイターで除菌し清潔に心がけている。冷蔵庫の掃除や点検、在庫チェックなども定期的に行い安全な食材の使用と管理に努めている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 中庭に小さな菜園を設け、玄関には季節の鉢植えや花などを飾り、近隣の人たちが気軽に入りやすいよう家庭的な雰囲気心がけている | | |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 天窓からの明るい陽光も取り入れ、フロアの飾りや廊下等に季節に応じた壁紙や観葉植物などを置き季節感等を採り入れ快適に過ごせるよう工夫している。調度品等にも配慮している | | |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 中庭や廊下、食堂にテーブルやソファ、長椅子を設置し、気の合う入居者同士がゆっくりと過ごせるよう配慮している。また、一人でのんびり過ごしたり昼間に和室で寝転びくつろがれる方もある | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|---------------------------------|
| <p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている</p> | <p>入居時には出来る限り使い慣れた家具、装飾品 (写真、小物) などを持参していただき、本人が 居心地良く過ごせるよう配慮している</p> | | |
| <p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている</p> | <p>冷暖房も季節や状況、入居者の状態に合わせた室 温調節を行い適温に心がけている。職員が毎日掃 除を行い換気にも常に配慮している。夏場にはたて ずやすだれなども使用し調整している</p> | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | |
| <p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している</p> | <p>ホーム内はバリアフリーで要所要所に手すりを設 置している。床材はクッションフロアを使用して いる。毎日体操やレク、散歩などを行いながら機 能低下の防止にも配慮している</p> | | |
| <p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している</p> | <p>理解力の低下により、行動の異常や混乱が見られ る場合もあり、その都度職員全体で検討してい る。環境整備や目印等をつけ混乱や失敗なく自立 した生活ができるよう支援している</p> | | |
| <p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている</p> | <p>つまずきや転倒の危険となるものは取り除き自由 にして頂いている。中庭でのお茶会や季節の花を 眺めたりとくつろいで頂いたり散歩に出かけたり している。自分で花を摘んでホールや居室に飾ら れることもある</p> | | |

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

| V. サービスの成果に関する項目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと) |
|------------------|--|---|
| 項 目 | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと) |
|-----|---|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている | ○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

近隣の小学校、幼稚園等の運動会、夏祭りなどの地域の行事にもできる限り参加している。ホームへの訪問や交流会を積極的に行い、自治会にも加入し地域住民の一員としての交流を図っている。

また、運営推進会議の定期的な開催により地域住民、包括支援センターとの連携を図り、事業所への意見や要望を反映し、サービスの質の向上に活かしている。事業所の利用料金は、低額に設定しており、低所得者でも入居できるよう配慮している。また、グループホームでの生活が困難になった場合は、希望があれば、法人内の介護保険施設等のサービスが利用できるようフォローアップ体制を整備している。